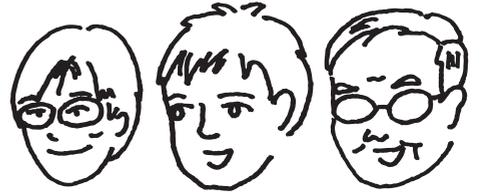


議会だより



こんにちは!
2019年ニュース1号
をお届けします!

「ワンコイン」が
ワンコインでなくなる!

100円が

10月から150円に!



3月議会の骨格予算

一般会計(A)

1,750億4,100万円

賛成したもの

建築物の耐震化	4億4,780万円
私立認可保育所(364名分増)	16億8,500万円
老人・障がい者施設整備	7億6,590万円

反対したもの

企業立地促進助成金	3億8,280万円
「祝祭の広場」整備事業	2億2,400万円
城址公園イルミネーション事業	5,500万円
同和関連予算	3億7,800万円

同和関連は特別扱いせず、人権全般の予算と同等にすべき

6月議会の補正予算

一般会計(B)

105億1,700万円

賛成したもの

自治公民館などの耐震化等	8,460万円
児童育成クラブの定員拡大(145名増)	2億4,700万円
予防接種事業の拡充	1億2,600万円

反対したもの

豊予海峡ルート推進	1,000万円
マイナンバーカード利用拡大	403万7,000
大分市ワンコインバス	広告料380万円
森林環境譲与税基金	3,400万円

個人住民税均等割が年間1,000円の負担増に。(企業は負担なし) 森林整備は国の責任で行うべき。

令和元年度一般会計予算は

(A)+(B) =
計1,855億5,800万円
対前年度比2.7%増の過去最大予算に
その他、10月からの消費税増税関連議案にはすべて反対しました。

大分市議団からの市政報告です。
今年4月に市長の改選が行われ、新年度予算審議が二段階に。3月議会で人件費や暮らしに係る骨格予算を審議し、6月議会で肉付けの補正予算。
6月議会では、年明けから始まったワンコインバス事業の見直しが大きな論戦に。

市民からは、現状維持を願う陳情が提出されましたが、結果は全て不採択。わが党議員団は、高齢者の健康と生活を支えているワンコインバス事業の改悪に最後まで反対しました。
また、9条改憲、消費税増税、大企業優遇、不公平な同和関連予算などに反対しました。

福岡 老後の生活に「2000万円」必要との政府見解で年金不安が広がる中、安倍政権は今

「減らない年金の実現を！」

市長 「あり方検討会」から提出された報告書と、寄せられた市民の意見を踏まえ、総合的に判断した結果、本事業を持続可能な事業とするための方針を決定した。

市長 「あり方検討会」から提出された報告書と、寄せられた市民の意見を踏まえ、総合的に判断した結果、本事業を持続可能な事業とするための方針を決定した。

福岡 「財布にも心にも優しい」と親しまれている「大分市高齢者ワンコインバス事業」は、全国に誇れる高齢者施策だ。市長は「あり方検討会」からの答申をもとに、運賃値上げや対象年齢引き上げを提案しているが、拙速な制度見直しは中止すべきと考えるが。

福岡 「財布にも心にも優しい」と親しまれている「大分市高齢者ワンコインバス事業」は、全国に誇れる高齢者施策だ。市長は「あり方検討会」からの答申をもとに、運賃値上げや対象年齢引き上げを提案しているが、拙速な制度見直しは中止すべきと考えるが。

会派代表の総括質問



福岡 健治 議員

市長 持続可能な社会保障制度と、財政健全化の両面を実現しようとするものであると認識しているのか?

市長 持続可能な社会保障制度と、財政健全化の両面を実現しようとするものであると認識している。

市長 持続可能な社会保障制度と、財政健全化の両面を実現しようとするものであると認識している。

福岡 増税に対する不安や批判が、国民に広がっている。今回の増税は、政府自身も景気悪化を認めざるを得ない中での強行で、歴史的にも前例のない無謀極まりない政策だ。これまで増税を推進してきた政権与党内部や財界などからも、増税に懸念の声が出ている。10%増税が今後景気悪化の引き金になるとの懸念を、市長はどう認識しているのか?

消費増税に反対!

市長 国民年金は、すべての国民を対象に健全な国民生活の維持及び向上に寄与することを目的としたものであり、本市としては、今後も国民年金事務の適正な執行に努めていく。

市長 国民年金は、すべての国民を対象に健全な国民生活の維持及び向上に寄与することを目的としたものであり、本市としては、今後も国民年金事務の適正な執行に努めていく。

後も年金削減を続けようとしている。「減らない年金」にするためには、「マクロ経済スライド」を廃止し、支給額の増額などを国に求めるべきだ。

福岡 安倍政権の憲法改正で9条に自衛隊を書き込めば、「戦力不保持」「交戦権否認」の規定は、空文化・死文化してしまふ。武力行使を目的にした海外派兵や集団的自衛権の行使が、無制限で可能となり、歯止めのない軍事大国への道となる。

安倍改憲は許されない!

市長 安倍首相の国会等での改憲発言については、平成30年5月1日付の質問主意書に対する国の答弁書で、政府から「憲法違反ではない」との見解が示されている。

市長 安倍首相の国会等での改憲発言については、平成30年5月1日付の質問主意書に対する国の答弁書で、政府から「憲法違反ではない」との見解が示されている。

市長 安倍首相の国会等での改憲発言については、平成30年5月1日付の質問主意書に対する国の答弁書で、政府から「憲法違反ではない」との見解が示されている。

市長 安倍首相の国会等での改憲発言については、平成30年5月1日付の質問主意書に対する国の答弁書で、政府から「憲法違反ではない」との見解が示されている。

市長 安倍首相の国会等での改憲発言については、平成30年5月1日付の質問主意書に対する国の答弁書で、政府から「憲法違反ではない」との見解が示されている。

憲法を遵守し、権力を縛られるべき首相が、自ら改憲の旗振りをするのは、明確な憲法違反であり、立憲主義の否定だと考えるが、市長の見解は?

許せない!
5兆円もの増税は中止を!

市民、行政に多大な負担 大分市で約3億円の影響

(来年度以降の年間見込み額)

増税に伴う条例改正に反対

- 市の施設の使用料などが値上げ!
例:コンパルホールトレーニング室
1回220円⇒240円
回数券2,200円⇒2,400円
水道料や下水道使用料なども値上げに

消費が落ち込まない為の対策と国は言うけれど...

- プレミアム付商品券
3月議会と6月議会合計8億8,550万円支出!
- 財源が「消費税増税分」では本末転倒
■幼児教育・保育無償化(3歳以上が無料に)
11億3,686万円





いwasaki たかひろ 議員

市民生活に密着した施設の改善を
野津原公民館の施設改善について、利用者から「トイレが壊れたまま」「集会室(講堂)の音響設備、カーテンなど手が入れられていない」など、改善を求める声が出ている。早急な対応が必要では?



築35年以上経過している野津原公民館

A 野津原公民館については、今年度トイレの壁面補修、音響設備のほか、ポンプ室の修繕などを実施していく。

その他の地区公民館も整備を

鶴崎公民館、植田公民館など、他の地区公民館の整備は?



さいとう ゆみこ 議員

ジェンダー平等の取り組みを質問
深刻化する「女性の貧困」、丁寧に対応できる窓口を
A 現在、本市で設置を進めている包括的な総合相談窓口に、女性の貧困につながる課題解決に向けた相談体制の検討を加える。
職場での性暴力、相談・救済の強化を関係機関と連携し、工夫を重ね、更に相談しやすい環境を整える。
LGBTに配慮し、中学の制服は早急に選択可能にすべき。今後はジェンダーレス制服の検討を!
生徒や保護者と十分な協議の上、願いを尊重し、柔軟に対応するよう各学校に指導する。

高齢者に補聴器購入の補助を

聴力の低下は認知症のリスクを高める。

ジェンダー平等の取り組みを質問

早期の補聴器使用が望ましいが高額なため、購入の補助金を検討すべきと考えるが?

A 現在、自治体の独自補助制度は少なく、国には公的補助の創設を望む意見書も出されている。今後、国や他市の動向に十分留意していく。

エナジードリンクの危険性周知を

カフェインを多く含む「エナジードリンク」は、中高生にも眠気覚ましとして飲まれているが、中毒性があり過剰摂取による救急搬送や死亡例もある。海外では18未満への販売を禁止している国もあり、保護者への注意喚起をすべきと考えるが。
A 厚労省からも子どもの過剰摂取による健康被害について見解が示されている。今後、幼児検診や子育てサロンなどで危険性を周知していく。また、学校現場でも様々な機会を通じて指導・周知に努める。

A 順次計画的な大規模改修が必要。トイレや照明設備、備品の更新や修繕といった小規模修繕は、毎年度一定程度の予算を確保するなかで、公民館の実情に応じ、優先度や緊急度等を見極めながら対応していく。
中心地以外の周辺部、特に合併となった野津原地区では、行政に市民の声が届きにくくなったとも聞いている。早急な対応を要望する。
学校の営繕でも体育館の雨漏りを指摘
市内複数の小中学校で、雨漏りが報告されている。早急に対策が必要では?
A 雨漏りが発生した場合には、速やかに現場確認し、対応している。相談のあった学校については、部分的な補修は行ってきたが、今後、根本的な解決を図るための改修を早期に行ってまいりたい。
学校施設は安全性の担保は当然必須だが、きれいな環境下で学習を保障する重要性もある。営繕予算の増額を要望する。



	共産	自民	社民	公明	新市民	民主	新政	無
平成31年陳情第1号 大分市高齢者ワンコインバス事業の推進を求める陳情(案:H31第1号)	○	×	×	×	×	○	○	×
令和元年陳情第3号 高齢者ワンコインバス事業の存続を求める陳情(案:R1第3号)	○	×	×	×	×	○	○	×
令和元年陳情第4号 高齢者ワンコインバス事業の現行制度の継続を求める陳情(案:R1第4号)	○	×	×	×	×	○	○	×

短期間にもかかわらず署名が添えられた陳情も。すべて反対多数で不採択。陳情の不採択に対して、おおいた民主が陳情3号のみ反対討論。(新政は討論なし)共産党市議団は全ての陳情の不採択に反対討論しました。

昨年度の質問で取り組みが前進!

- 児童相談所設置に向け具体的な検討へ 検討委員会の設置、基本計画を策定
- (仮称)配偶者暴力相談支援センター設置 具体的な検討へ
- 給付型奨学金「未来自分創造基金」 卒業時5万円→10万円に拡充 (昨年度は定員が25名→50名に拡充)

ふくま 第2回定例会「生活保護決定通知をもっと分かりやすく」
…新年度からの通知は内容が分かりやすくなるよう努める。

さいとう 第3回定例会「市営住宅への入居促進。条件緩和で困窮者に対応を」
…連帯保証人の免除取扱要領を定め、単身者入居の要件緩和を実施。

いwasaki 第4回定例会「生活保護の面接。女性の対応に配慮を」
…女性のケースワーカーを希望する際は、速やかな対応を徹底する。

控え室から
事務局:吉光
熱さ本番、お元気ですか?私はあまりの暑さにかき氷機を買いました!さて、6月議会の注目は「ワンコインバス」。市政懇談会でも意見が続出!これはほっとけない!ということで委員会傍聴へ。事の成り行きを静かに見守りました(笑)議員からは様々な意見がでしたが、結果は賛成多数で、市長の提案通りに決定。う〜ん…と思っていたら、隣の傍聴席からつぶやきが。「戦いはこれから…」やっぱこれが市民の声かも。

「ワンコインバス」が「長寿応援バス」に!

「高齢者ワンコインバス事業」のこれまで

2004年6月 対象70歳以上、運賃100円で事業スタート
2005年 市町村合併により料金が3段階(100円・200円・300円)に
2011年4月 料金市内一律100円に拡充
2013年7月 対象年齢65歳に引き下げ

2018年度の状況

【利用状況】乗車証交付数は約9万8千人(77%に普及)
【バス事業者への委託料】約3億円

市長が委嘱したあり方検討会の報告書

【対象】5年間で段階的に70歳に引き上げ
【料金】「路線バスの初乗り運賃を上限」に(引き上げ)

厚生常任委員会での審議

「願い切り捨て」に最後まで反対
・今年10月から利用料金150円に
・来年4月以降、段階的に対象年齢引き下げに
予算議案は、10月からの事業変更を周知する為の広告料として計上されました。
事業は、乗車証を提示して(目視で)行われている為、データとして正確な把握が不可能。バス事業者への委託料引き上げの根拠が明確でないと議論に。しかし、結局、3つの陳情はいずれも不採択となり、予算案は賛成多数で可決。事実上、事業の下方修正が認められました。
日本共産党市議団は、多くの反対署名も添えられている市民の声を十分に聞かず、年度途中で運賃を値上げすることは許されないと、最終日の本会議まで厳しく追及しました。
※陳情の賛否は別表
※陳情4号に添えられた署名数は1,410筆

